

**2021年度宮城大学入学者選抜（2020年度実施）の変更について（予告：第六報）**

令和元年12月17日付けで文部科学大臣から、令和3年1月実施の大学入学共通テストにおいては、「記述式問題」は実施せず、導入見送りとすることが発表されました。その後、令和2年1月29日付けで文部科学省より「令和3年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト実施大綱の見直しについて」が通知されました。

本学では、これまでに予告第三報（2019年3月29日）の中で、「大学入学共通テストにおける記述式問題の活用方法について」を公表してまいりましたが、「国語」「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・A」で予定されていた「記述式問題」の導入見送りに伴い、該当する公表内容を削除します。

なお、本学では、これまでも一般選抜における個別学力検査において、記述式の出題に取り組んでまいりました。こうした取り組みを継続するとともに、今後の文部科学省における高大接続改革の再検討内容を注視しながら、高等学校とも連携し、新たな制度に向けて検討を進めてまいりたいと考えております。

**1. 大学入学共通テストにおける記述式問題の活用方法について【予告第三報より】****（1）国語の記述式問題の活用について**

大学入学共通テストの国語の記述式問題の採点結果（段階別評価）を点数化し、マークシート式問題の点数と合算して国語の成績とします。その方法は、段階別評価に関する内容や配点を踏まえ、後日公表します。

**（2）数学の記述式問題の活用について**

大学入学共通テストの数学の記述式問題の結果は、マークシート式問題と一体で出題され配点がなされることから、従来のマークシート式と同様の取扱いとします。

「国語」「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・A」で予定されていた「記述式問題」導入延期に伴い、上記枠内の公表内容を削除します。

以上

## 【参考】2021年度宮城大学入学者選抜（2020年度実施）の変更点等＜公表内容まとめ＞

以下の資料は、これまで本学が公表してきた予告第一報から予告第六報の内容について、2020年3月16日時点で取りまとめたものです。

### 1. 入試区分（呼称）の変更について【予告第一報】

入試区分の呼称を下記のとおり変更します。

変更前（※1）	変更後（※2）
一般選抜	（変更無し）
AO入試	総合型選抜
推薦入試	学校推薦型選抜

（※1）2019年度入学者選抜

（※2）2021年度入学者選抜

### 2. 調査書の活用方法について【予告第一報】

大学入学者選抜において「学力の3要素」を多面的・総合的に評価するため、調査書の改善が予告されています。

本学では、全ての入試区分において、一人ひとりが積み上げてきた大学入学前の学習や多様な活動等を評価するため、調査書を十分に活用してまいります。特に、総合型選抜や学校推薦型選抜においては、調査書の「総合的な学習の時間の内容・評価」や「備考」等の項目で、高等学校段階で積み重ねられた「探究的な学習への取組」の成果を十分に評価してまいります。

### 3. 入学定員と募集人員【予告第二報】

2019年度入学者選抜で実施の内容から変更はありません。

		入学定員	募集人員						
			学群単位での入試					学類単位での入試	
			一般選抜		特別選抜			特別選抜	
			前期日程	後期日程	学校推薦型選抜	帰国子女	社会人	総合型選抜	外国人留学生
看護学群	看護学類	95	48	10	24	若干名	若干名	8	5
事業構想学群	事業プランニング学類	200	100	20	40	若干名	若干名	8	5
	地域創生学類							8	5
	価値創造デザイン学類							8	6
食産業学群	食資源開発学類	125	62	12	28	若干名	若干名	8	3
	フードマネジメント学類							8	4
計		420	210	42	92	若干名	若干名	48	28

#### 4. 一般選抜における主体性等評価について【予告第三報， 予告第四報】

看護学群では，従来どおり面接にて評価します。

事業構想学群と食産業学群では，出願時に調査書と対応した5項目程度のチェックリストを設け，「活動実績報告書（仮）」として出願者に自己申告していただき，全出願者分を採点することとします。

この配点は一般前期，一般後期の総点の概ね2%とします。記載内容の根拠は，調査書にて確認することとし，その他の追加資料（eポートフォリオ等）を求めることはいたしません。

#### 5. 一般選抜の実施内容（大学入学共通テスト， 個別学力検査等）について

##### 【予告第一報， 予告第二報， 予告第三報， 予告第四報， 予告第五報】

(1) これまでの予告内容を統合し，各学群の一般選抜は，下記のとおり実施いたします。

英語の外部「資格・検定試験」については，予定していたCEFR段階による加点幅を取りやめ，従来どおり，リーディング及びリスニングのみで大学入学共通テストの英語の満点を設定することといたします。

##### <看護学群>

大学入学共通テストの利用教科・科目等		個別学力検査
教科	科目	
国語	「国語」	「論 説」
地理歴史 公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」 } 地理歴史・公民から1 「倫理, 政治・経済」	
理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」から2 かつ「物理」「化学」「生物」から1 又は「物理」「化学」「生物」から2	
数学	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」から1 かつ「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」から1	「面 接」
外国語	「英語(リーディング, リスニング)」	
5教科7科目又は5教科8科目		

##### 【看護学群:大学入学共通テスト 利用教科・科目における注意事項】

- 地歴において，「世界史A」，「日本史A」，「地理A」は選択できません。
- 理科において，「地学基礎」，「地学」は選択できません。
- 理科の選択方法について，「理科基礎あり2科目と理科基礎なし1科目の選択」の場合，理科は同一名称を含む科目同士の選択が可能です。

<事業構想学群>

大学入学共通テストの利用教科・科目等		個別学力検査
教科	科目	
国語	「国語」	「論説」  「外国語」  「数学」
地理歴史 公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」 } 地理歴史・公民 「現代社会」「倫理」「政治・経済」 } から1又は2 「倫理, 政治・経済」 } 地理歴史・公民・ 理科から3又は4	
理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から0又は2 かつ「物理」「化学」「生物」「地学」から0, 1又は2	
数学	「数学Ⅰ・数学A」かつ「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1	
外国語	「英語(リーディング, リスニング)」	
5教科7科目, 5教科8科目, 6教科7科目又は6教科8科目		

**【事業構想学群:大学入学共通テスト 利用教科・科目における注意事項】**

- 地歴において、「世界史A」, 「日本史A」, 「地理A」は選択できません。
- 「地歴公民から2科目選択」の場合, 公民からの2科目選択はできません。
- 理科の選択方法について, 「理科基礎あり2科目と理科基礎なし1科目の選択」の場合, 理科は同一名称を含む科目同士の選択が可能です。

<食産業学群>

大学入学共通テストの利用教科・科目等		個別学力検査
教科	科目	
国語	「国語」	「外国語」  「理科※1」  「数学※2」
地理歴史 公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」 } 地理歴史・公民 「現代社会」「倫理」「政治・経済」 } から1又は2 「倫理, 政治・経済」 } 地理歴史・公民・ 理科から3又は4	
理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」から0又は2 かつ「物理」「化学」「生物」から0, 1又は2	
数学	「数学Ⅰ・数学A」及び「数学Ⅱ・数学B」	
外国語	「英語(リーディング, リスニング)」	
5教科7科目, 5教科8科目, 6教科7科目又は6教科8科目		

※1…「理科」は, 「化学」, 「生物」の2科目から1科目の選択となります。

出題範囲は, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」の全範囲となります。

※2…「数学」の出題範囲は, 2019年度入学者選抜から変更はありません。

**【食産業学群:大学入学共通テスト 利用教科・科目における注意事項】**

- 地歴において、「世界史A」, 「日本史A」, 「地理A」は選択できません。
- 理科において, 「地学基礎」, 「地学」は選択できません。
- 「地歴公民から2科目選択」の場合, 公民からの2科目選択はできません。
- 理科の選択方法について, 「理科基礎あり2科目と理科基礎なし1科目の選択」の場合, 理科は同一名称を含む科目同士の選択が可能です。

【食産業学群の一般選抜個別学力検査における 2019 年度入学者選抜からの変更点】

- ①個別学力検査の教科であった「理科・数学」を「理科」、「数学」と変更し、「A区分（数学重視）」「B区分（理科重視）」を選択する制度は廃止します。
- ②「理科」の選択科目から「物理」を除くこととし、「化学」、「生物」の2科目から1科目を選択することとします。
- ③「理科」の出題範囲は、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」の全範囲とします。なお、「数学」の出題範囲に変更はありません。

(2) 一般選抜の配点については、これまでに予告してきた入試制度の変更点を踏まえ、下記のとおり実施します。

学群	試験区分	国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	論説	面接	主体性等評価
看護学群	一般選抜(前期日程)	大学入学共通テスト	200	100		200	200	250		
		個別学力検査等						150	150	評定
	一般選抜(後期日程)	大学入学共通テスト	100	50		100	100	125		
		個別学力検査等						150	150	評定
事業構想学群	一般選抜(前期日程)	大学入学共通テスト	200	300		200	250			
		個別学力検査等				100	100	100		25
	一般選抜(後期日程)	大学入学共通テスト	100	150		100	125			
		個別学力検査等				100	100	100		15
食産業学群	一般選抜(前期日程)	大学入学共通テスト	200	300		200	250			
		個別学力検査等			100	100	100			25
	一般選抜(後期日程)	大学入学共通テスト	100	150		100	125			
		個別学力検査等				100	100	100		15

※本学の一般選抜における大学入学共通テスト 外国語「英語」の得点は、以下の取り扱いとなります。

<一般選抜（前期日程）：250 点満点>

<b>リーディング</b>	<b>リスニング</b>
<b>200 点</b>	<b>50 点</b>

<一般選抜（後期日程）：125 点満点>

<b>リーディング</b>	<b>リスニング</b>
<b>100 点</b>	<b>25 点</b>

6. 総合型選抜（現行のAO入試）について【予告第二報， 予告第四報， 予告第五報】  
2019年度入学者選抜で実施の制度から，「選考の流れ」を以下のとおり変更します。

【選考の流れ】

	第1次選考	第2次選考	
		【1日目】	【2日目】
内容	(1)レクチャー① (2)レクチャーレポート	(1)レクチャー② (2)グループワーク (3)ふりかえりレポート	面接(口頭試問を含む。)
備考	出願者全員を対象に実施	第1次選考合格者を対象に実施	

【総合型選抜における2019年度入学者選抜「AO入試」からの変更点】

- ①出願者全員を対象に，来学の上，第1次選考を実施します。  
②①にともない，第2次選考の1日目の内容が変更になります。

※英語の「資格・検定試験」については，その受検及び結果報告を不要といたします。(従来どおり，本学が指定する教科・科目の大学入学共通テストの自己採点結果の報告は必要です)

7. 学校推薦型選抜（現行の推薦入試）について【予告第二報， 予告第五報】

2019年度入学者選抜で実施の制度から，「選抜方法」を以下のとおり変更します。出願時期や面接の実施時期については，変更の予定はありません。

英語の外部「資格・検定試験」については，予定していたCEFR段階による加点幅を取りやめ，従来どおり，リーディング及びリスニングのみで大学入学共通テストの英語の満点を設定することといたします。

【選抜方法】

新たな学校推薦型選抜では，以下に指定する教科・科目の大学入学共通テストの合計点，調査書，推薦書，自己申告書等の出願書類の内容及び面接の成績を総合的に判定して行います。

<3学群共通>

大学入学共通テストの利用教科・科目等	
教科	科目
国語	「国語」
地理歴史 公民	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から1
理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2 又は 「物理」「化学」「生物」「地学」から1
数学	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」から1 かつ 「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1
外国語	「英語(リーディング, リスニング)」
5教科6科目又は5教科7科目	

## 【学校推薦型選抜における2019年度入学者選抜「推薦入試」からの変更点】

- ①大学入学共通テストの結果を、これまでの「基準点」として取り扱うのではなく、合計点を総合評価に組み込みます。
- ②本学で実施する「面接」では、口頭試問を含まないものとします。

※本学の学校推薦型選抜における大学入学共通テスト 外国語「英語」の得点は、以下の取り扱いとなります。

<学校推薦型選抜：250点満点>

<b>リーディング</b> 200点	<b>リスニング</b> 50点
-----------------------	---------------------

## 8. 特別選抜（帰国子女・社会人・外国人留学生）における「英語」の評価について

### 【予告第三報，予告第五報】

特別選抜（帰国子女・社会人・外国人留学生）においては、予告第三報において、英語4技能評価に資するため、これまでの選抜方法に加え、出願にあたっては、原則として、大学入試センターが大学入学共通テストにおいて認定する全ての「資格・検定試験」のうち1つを受験の上、公式スコアを提出していただき、総合的な合否判定に活用することとして公表しておりました。

来年度「大学入試英語成績提供システム」が稼働しない状況となりましたが、出願者の英語の基礎的な能力を把握するため、この出願にあたっては、原則として、本学が以下のとおり指定する資格・検定試験のうち、いずれか1つの公式スコア（出願締切日からさかのぼって2年以内に受検したもの）を提出していただき、総合的な合否判定に活用することといたします。

### 【本学が指定する資格・検定試験】

- ① ケンブリッジ英語検定
- ② 実用英語技能検定（1級～3級）
- ③ GTEC 検定版
- ④ GTEC CBT
- ⑤ IELTS
- ⑥ TEAP
- ⑦ TEAP CBT
- ⑧ TOEFL iBT
- ⑨ TOEFL PBT
- ⑩ TOEFL ITP
- ⑪ TOEIC L&R（ただし、TOEIC Bridge は除く）

※実施団体の状況により、試験の種類等が変更になる場合があります。

以 上